

コロナ禍、急増する中小運送会社M&A
リスクコントロールで成功裡に完結させる

中小運送会社 M&A コンサルティング

働き方改革、行政処分の強化、ホワイト物流、働きやすい職場認証制度の発足等運送会社を取り巻く環境は激変し、行政主導で進む運送会社淘汰の時代。優良ドライバーもなかなか採用できず、仕事はあるが運べない運送会社。コロナが追い打ちをかけ、業績が悪化し、将来展望に影を落とし、生き残りをかけてM&A。こんな運送会社の足元を見透かしたかのように、M&Aの悲劇は起るのです。ブリックスは、M&Aの悲劇を起こさせない支援をご提供します。

あてにならない決算書の不実

Point 1 中小企業の決算書を過信してはいけない

- (1) 監査法人による決算の適正意見は無い
- (2) 決算書での企業価値はリスク大
- (3) 仲介者や銀行も相手の会社の実情は分からない

見えないものを見る力を

Point 2 隠れた負債（簿外債務）の存在を見抜く力を養う

- (1) 保証・融通手形・未払残業代
 - ☞ 運送会社は未払残業代という簿外債務が存在する
- (2) 中小企業は簿外債務は当たり前
- (3) 中小企業は損益の数字もいい加減

安全に合併や買収を成功させるために

Point 3 隠れ債務を背負うことがないように

- (1) 協力的な相手かどうか
- (2) 自社にとってオイシイ話には注意
- (3) 買収も包括より限定して買う
- (4) 運転資金に困っている会社は要注意

M&Aの目的を確実に実現するために

Point 4 中小企業は身の丈に合ったM&Aを

- (1) 銀行やM&A仲介業者はお勧めできない
- (2) あてになる業界内での噂

